

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	コミュニケーションⅡB(0207)	
科目基礎情報							
科目番号	4M02		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位A: 1			
開設学科	産業システム工学科機械・医工学コース		対象学年	4			
開設期	秋学期(3rd-Q)		週時間数	3rd-Q:2			
教科書/教材	①『理科系の作文技術』（中公新書）②『論文の教室』（NHKブックス）③『大学生のための文章表現＆口頭発表練習帳』						
担当教員	戸田山 みどり,海野 かおり						
到達目標							
コミュニケーション能力を高める。(特にプレゼンテーション力を身につける) 小論文・研究論文を書く力を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	コミュニケーション能力を高めることが主体的にできる。		コミュニケーション能力を高めることができる。		コミュニケーション能力を高めることができない。		
評価項目2	特にプレゼンテーション力を身につけることが主体的にできる。		特にプレゼンテーション力を身につけることができる。		特にプレゼンテーション力を身につけることができない。		
評価項目3	小論文・研究論文を書く力を身につけることが主体的にできる。		小論文・研究論文を書く力を身につけることができる。		小論文・研究論文を書く力を身につけることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP5 ○ ディプロマポリシー DP6◎							
教育方法等							
概要	【開講学期】秋学期週2時間・成績評価は冬学期 グローバル化が叫ばれる今日、多様な文化を理解し、他者とコミュニケーションをとる必要がある。特に理科系の学生が社会に出てから必要になるコミュニケーション能力について、基礎的な理解を広げ、自分の考えを論理的に述べ、情報を収集整理し、正確に伝える力を養う。3年次よりも進路や研究論文などでの文章表現を意識し、より実践的な力を身につける。聴衆の前でプレゼンテーションを行い、限られた時間で人をひきつける力を養う。						
授業の進め方・方法	実際に1つのテーマを個々に設定し、論文を書きあげていく。授業の中で構成や論文に関する基本事項を理解するとともに、何度か添削を行い、よりよい論文を完成させる。また、自己をPRできるプレゼンテーションを行う。						
注意点	春学期のうちに提案した論文課題について、秋学期開始時にテーマを決定して受講すること。また、授業中には論文執筆および論文執筆のための資料読解の機会は設けないため、自学自習を必要とする。また、就職進学に必要な自己をPRするためのプレゼンテーションを実施するため、積極的な取り組みが必要である。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 論文の書き方1…テーマ 論文のテーマとは…テーマ発見の実例 自分の論文のテーマについて…		授業概要を把握できる		
		2週	論文の書き方1…引用文の書き方・参考文献リストの作成について		論文の引用・文献リストのルールを理解する		
		3週	論文の書き方2…アブストラクトの書き方		アブストラクトの役割を理解し、要約を書くことができる		
		4週	論文の書き方3…文章構成・アウトラインとは		アウトラインを見つけることができる・書き方が把握できる		
		5週	自己PR発表準備1…自己分析		いくつかの指標に基づき、自己分析ができる		
		6週	自己PR発表準備2…情報収集		進路の目標とする企業・大学等についての情報分析ができる		
		7週	自己PR発表準備3…自己PR原稿作成		自らのPRをするための原稿を作成できる		
		8週	自己PR発表会		他者に興味を持たせられるような発表ができる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	論文提出	課題	発表				合計
総合評価割合	40	40	20	0	0	0	100
基礎的能力	40	40	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0